

# 中山間地域の活性化について

議員提案条例として平成14年度に制定された「岡山県中山間地域の振興に関する基本条例」及び平成22年度に改訂した「岡山県中山間地域活性化基本方針」に基づき、中山間地域の活性化を総合的、効果的に推進する。

## 1 中山間地域の定義

山間地及びその周辺の地域等地理的及び経済的条件に恵まれない地域で、次のいずれかに該当するもの

- ・ 山村振興法に規定する山村
- ・ 特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律に規定する特定農山村地域
- ・ 過疎地域自立促進特別措置法に規定する過疎地域

## 2 中山間地域の現状と役割

### (1) 現状

- ・ 過疎化・高齢化が急速に進行
- ・ 担い手不足による耕作放棄地の増加や森林の荒廃
- ・ 農林水産業の活力の低下
- ・ 集落の機能が低下
- ・ 交通、保健・医療、商業等の日常生活基盤の弱体化 等

### (2) 役割

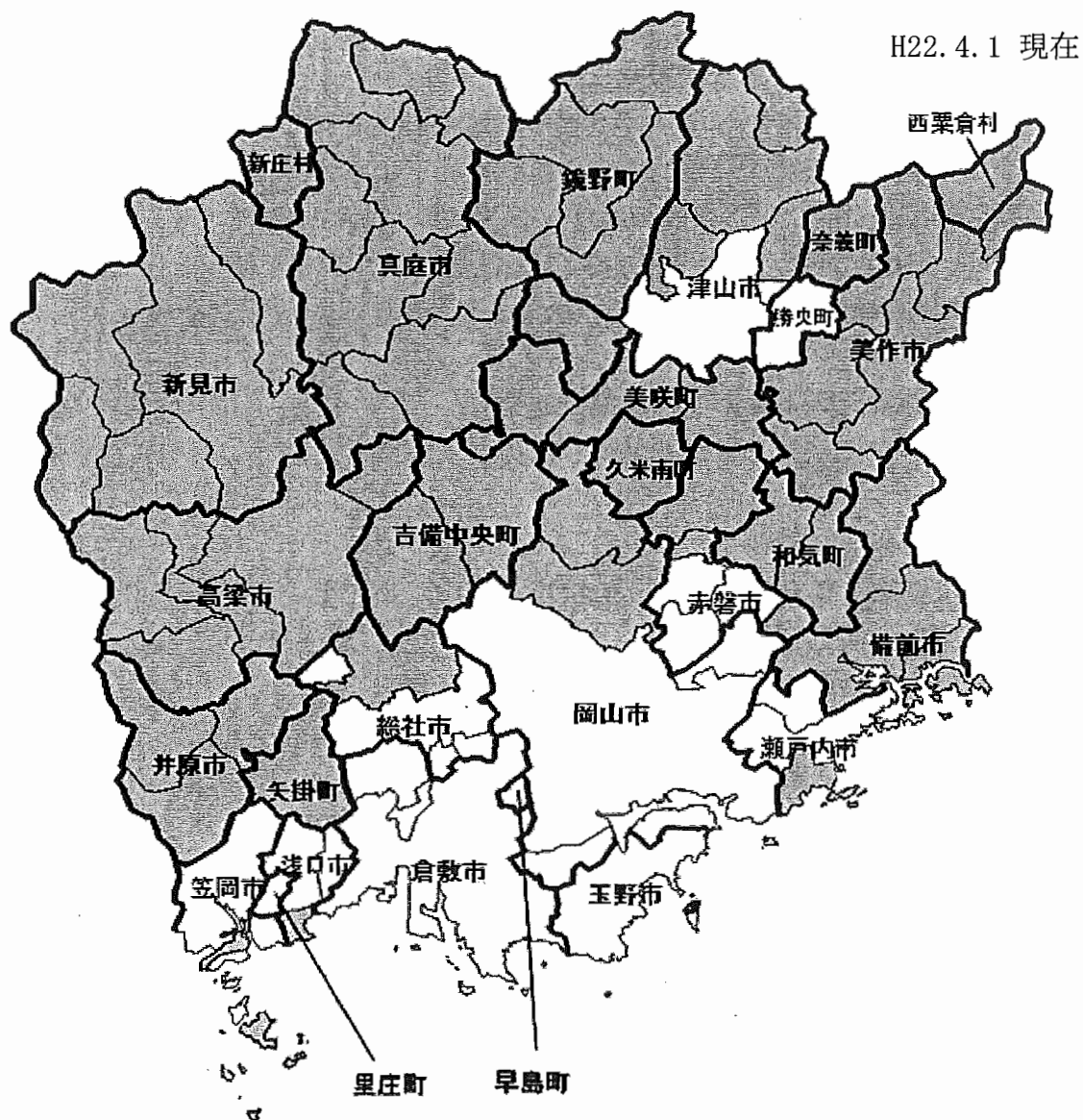
- ・ 農林水産物の安定供給
- ・ 水資源のかん養、洪水防止、地球温暖化防止
- ・ 県民の憩いと安らぎの交流空間
- ・ 豊かな自然を背景とした定住の場

## 中山間地域について

### ○定 義

山間地及びその周辺の地域等地理的及び経済的条件に恵まれない地域で、次のいずれかに該当するもの（岡山県中山間地域の振興に関する基本条例第2条）

- ア 山村振興法に規定する山村
- イ 特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律に規定する特定農山村地域
- ウ 過疎地域自立促進特別措置法に規定する過疎地域



### ○面積・人口等

区 分	市町村数	面 積(km <sup>2</sup> )	人 口(人)	高齢化率(%)
全 県 域	27	7,112.72	1,957,264	22.4
中山間地域	22	5,352.59	610,110	28.5
中山間地域の割合	81.5%	75.3%	31.2%	—

(注) 人口及び高齢化率は、H17年国勢調査による。

### 3 中山間地域等活力創出支援事業

過疎化、高齢化が進行している中山間地域の活性化を図るため、集落機能の維持・強化に取り組む「おかやま元気！集落」の活動や地域の創意工夫を生かした取組を支援するとともに、地域産業の振興など地域活力の創出に努める。

#### (1) 地域活力創出事業（60,000千円）

県民局が、地域の課題やニーズを踏まえ、市町村や商工団体、農業団体等と連携しながら地域産業の振興など地域活力の創出に取り組む。

#### (2) おかやま元気！輝く中山間地域づくり事業

##### ア おかやま元気！集落支援事業（9,310千円）

小規模高齢化集落など単独では集落集落機能の維持が困難な集落について、周辺の複数の集落が連携し広域的に支えあうため、小学校区、大字等の単位で新たな地域運営組織を設け、集落機能の維持・強化に取り組む地域を「おかやま元気！集落」として、中山間地域の活性化の原動力と位置づけ、その活動を支援し、拡大を図る。

※小規模高齢化集落……高齢化率50%以上かつ戸数19戸以下の集落

##### ○ おかやま元気！集落支援事業補助金

「おかやま元気！集落」が行う取組を支援する市町村に対して補助金を交付する。

- ・補助率：2／3
- ・限度額：500千円（1地域当たり）

##### ○ おかやま元気！集落アドバイザー育成事業

集落の運営やさまざまな取組をサポートする「おかやま元気！集落アドバイザー」を配置する市町村に対して補助金を交付する。

- ・補助率：1／2
- ・限度額：50千円／月（1地域当たり）

##### イ 中山間地域協働支援センター事業（9,500千円）

中山間地域の活性化に資する人材の育成や、NPO、大学、民間企業等多様な主体のネットワークづくりを進め、活性化の取組のすそ野の拡大を図るほか、「おかやま元気！集落応援団」を設け、集落の活動を支援する。

##### ウ 頑張る地域応援事業（34,000千円）

中山間地域の主体的、自立的な地域づくりを促すため、市町村が実施する地域の資源を生かした創意工夫あふれる取組を積極的に支援する。

- ・補助率 1／2以内
- ・限度額 ソフト2,000千円、ハード10,000千円（1件当たり）

(3) 中山間地域生活交通確保事業 (6,000千円)

中山間地域の生活交通を確保するため、乗合タクシーやコミュニティバスなど、地域に適した交通手段を市町村が導入する場合に、車両購入費や試行運行費、車両の更新費用等について補助を行う。

(4) 中山間地域等生活・交流基盤整備推進事業 (450,000千円)

〈農林水産部・土木部〉

中山間地域等における生活道路の安全確保対策、集落間をつなぐ連絡道の拡幅や待避所整備、農道・水路の改良等の生活・交流基盤整備を行う。

(5) 地域生活総合支援モデル事業 (1,190千円) 〈産業労働部〉

中山間地域における買い物支援や安否確認など日常生活の確保に向けた市町村の取組を支援し、持続可能なソーシャルビジネスとしてのモデル事業の構築を目指す。

(6) 農山村・棚田地域“農力”再生事業 (30,000千円) 〈農林水産部〉

地域の農業パワーの再生と耕作放棄地の発生抑制により地域農業の復興を図る。

#### 4 推進体制

(1) 岡山県政策推進会議及び岡山県中山間地域活性化推進会議 (H22年4月設置)

中山間地域の活性化については、岡山県政策推進会議(主宰:知事、構成員:副知事、各部長等)において、方針決定や政策立案等を行うこととし、各部局の取組の進行管理や部局間の連絡調整等については、岡山県中山間地域活性化推進会議(各部局の主管課長等で構成)で行う。

(2) 岡山県中山間地域県・市町村連携協議会 (H18年2月設置)

県及び市町村が中山間地域関連施策について連携して取り組むための、情報の交換、課題の検討等を実施する。

(会長:県民生活部地域活性化推進監、構成員:県主管課長、市町村企画担当課長等)

# 中山間地域等活力創出支援事業 (600,000千円)

**部局横断による  
地域活性化に  
向けた取組!**

◎地域活力創出事業 60,000千円  
(県民局・県民生活部)

- ・県民局と市町村、商工団体、農業団体等との連携により地域産業の振興をはじめとした施策を展開し地域の活力を創出
- ・事業規模 20,000千円/局

◎おかやま元気!輝く中山間地域づくり事業 54,000千円  
(県民生活部・産業労働部)

- おかやま元気!集落支援事業
  - ・集落機能の維持・強化に向けた取組の支援
- 中山間地域協働支援センター事業
  - ・おかやま元気!集落応援団の導入
  - ・人材育成や活性化に向けた取組のすそ野の拡大
- 頑張る地域応援事業
  - ・お試し住宅の整備など地域の創意工夫を生かした取組の支援
- 地域生活総合支援モデル事業
  - ・ソーシャルビジネスモデルの構築を目指した日常生活の確保に向けた取組の支援

地域活力の創出

集落機能の強化、  
交流・定住の促進

中山間地域等の  
活力の創出

移動手段の確保

基幹産業である  
農林業の復興

◎中山間地域生活交通確保事業  
6,000千円 (県民生活部)

- ・生活交通の確保に向け、市町村や民間団体(NPO、自治会等)が新たに公共交通手段(乗合タクシー等)を導入する場合の支援
- 車両購入費、試行運行費等

◎農山村・棚田地域”農力”再生事業  
30,000千円 (農林水産部)

- ・地域農業パワーの再生、耕作放棄地の発生抑制

生活・交流基盤の整備

◎中山間地域等生活・交流基盤  
整備推進事業 450,000千円  
(農林水産部・土木部)

- ・生活道路・連絡道路の整備、農道・水路の改良等

岡山県中山間地域活性化基本方針(改訂版)に係る関連事業予算額(平成23年度当初予算額)

(単位:千円)

お か や ま 元 気 ！ 輝 く 中 山 間 地 域	1 安全・安心な暮らしの確保 (28,704,516)	(1)生活交通の確保 (296,891)	
		(2)生活道路の整備 (5,876,000)	
		(3)保健・医療・福祉サービスの確保 (10,700,553)	①地域における医療体制の整備 (7,749,260) ②高齢者の介護等 (2,152,286) ③障害福祉・子育て支援 (799,007)
		(4)商業機能の確保 (1,904,074)	
		(5)教育環境の整備 (579,929)	
		(6)居住環境の整備 (740,723)	①上水道等 (35,000) ②下水道 (216,608) ③住宅 (489,115)
		(7)情報通信基盤の整備 (51,208)	
		(8)安全に安心して暮らせる地域づくり (611,639)	①おかやま元気！集落 (606,778) ②消費生活の安心の確保 (4,861)
		(9)消防・救急の充実 (202,432)	
		(10)災害に強い地域づくり (3,391,013)	①治山・砂防 (2,889,969) ②農地防災 (501,044)
		(11)農山漁村環境の保全 (4,062,260)	①農地、森林等の適正な保全管理 (3,898,282) ②自然環境の保全 (163,978)
		(12)地域文化の保存・振興 (108,969)	
		(13)環境の保全 (178,825)	①不法投棄の防止 (139,258) ②環境と調和した畜産の確保 (0) ③地域アダプトの推進 (39,567)
2 経済基盤の確立 (14,611,151)	(1)農林水産業の振興 (13,717,572)	①地域特性にあった作目の振興 (339,162) ②担い手の確保・育成、新規就農の促進 (318,783) ③集落営農組織の育成 (19,943) ④地産地消の推進 (2,230) ⑤6次産業化・農商工連携の推進 (11,094) ⑥特色ある地域農業を支える基盤づくり (11,640,642) ⑦畜産の振興 (130,358) ⑧水産業の振興 (221,309) ⑨林業の振興 (1,004,771) ⑩農林水産共通項目 (29,280)	
	(2)商工業等の振興 (893,579)	①産業おこし等 (359,583) ②企業立地の促進 (420,753) ③魅力ある観光地づくり (113,243)	
3 交流・定住の促進 (188,973)	(1)都市等との交流の促進 (33,000)		
	(2)定住の促進 (65,148)		
	(3)国際化の促進 (90,825)		
		<b>全体額計 43,504,640 千円</b>	

※予算額については、中山間地域分を含む全体事業費を計上

# H23年度おかやま元気！集落支援事業の概要

おかやま  
元気！集落  
<21地域>

【元気！集落の要件】次のいずれかに取り組んでいる、  
又は取り組もうとする地域

- ①地元実施体制(地域運営組織)の整備
- ②住民アンケート等による地域の現状と課題の把握
- ③集落機能再編・強化計画の策定・事業の実施



※H23.4.1現在



## おかやま元気！集落支援パッケージ

### 情報提供・活動支援

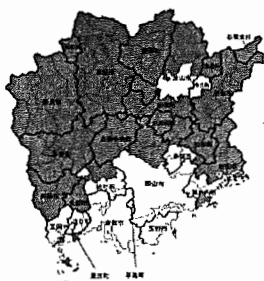
- おかやま元気！集落応援ポータルサイトの運営【H22～】
- 取組事例集の普及【H21～】
- 地域運営の手引書の普及【H20～】
- 情報交換会の開催【H20～】
- 計画に基づく事業実施のPR支援【H21～】
- おかやま元気！集落支援事業補助金【H23～】
- 頑張る地域応援事業補助金【H23～】

### 人材育成・人的支援

- 中山間地域専門家等派遣制度の運営【H20～】
- 中山間地域リーダー養成講座の開催【H20～】
- おかやま元気！集落アドバイザーの育成・配置【H22～】

(注)人材育成・人的支援の一部は中山間地域協働支援センターへ委託

多面的  
な支援



★更なる取組の促進

情報発信

夢づくり協働指標の目標

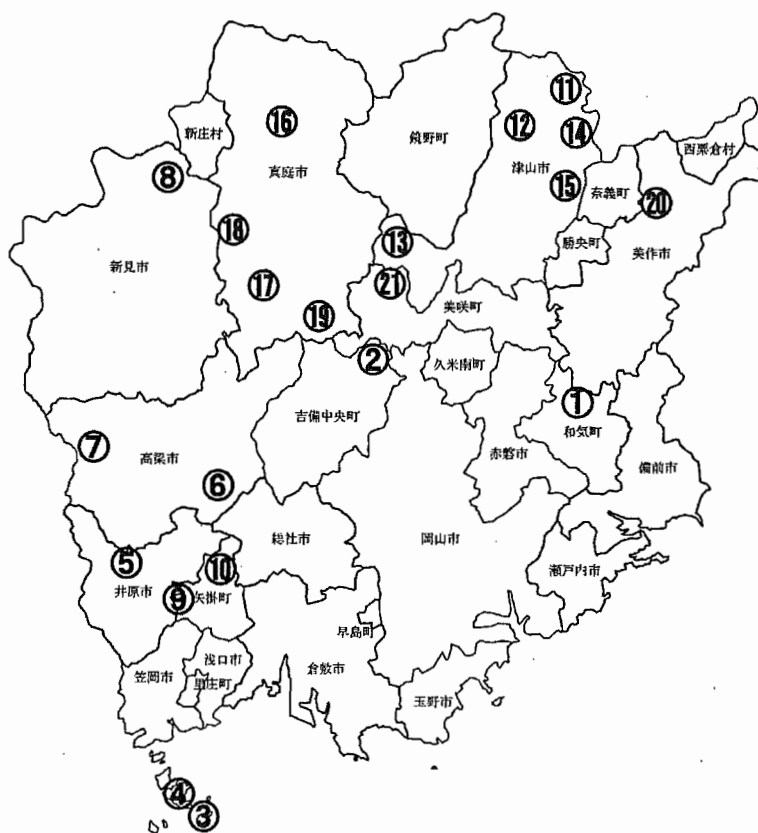
30地域  
以上に拡大

# おかやま元気！集落の状況

H23.3.31現在 21地域

県民局	番号	地域名(市町村名)	地域の単位	集落数	戸数	人口(人)	高齢化率(%)
備前局	①	◎ 丸山・南山方(和気町)	自治会	2	55	115	47.8
	②	◎ 旧高富小学校区(吉備中央町)	小学校区	3	118	240	55.4
備中局	③	◎ 真鍋島(笠岡市)	小学校区	2	163	289	60.6
	④	北木島(笠岡市)	その他(島全域)	4	654	1,104	60.2
	⑤	◎ 池井(井原市)	自治会	12	64	156	57.1
	⑥	◎ 玉川町増原・下切(高梁市)	大字	13	81	141	64.5
	⑦	備中町平川(高梁市)	その他(コミュニティ)	24	278	561	58.8
	⑧	◎ 大佐大井野(新見市)	大字	6	90	248	48.4
	⑨	山ノ上集落(矢掛町)	自治会	3	24	49	65.3
	⑩	下高末集落(矢掛町)	自治会	6	84	260	33.5
美作局	⑪	阿波地域(津山市)	連合町内会の支部	8	225	624	38.8
	⑫	新加茂地域(津山市)	連合町内会の支部	8	597	1,512	36.8
	⑬	大井西地域(津山市)	連合町内会の支部	3	429	1,214	33.4
	⑭	上加茂(津山市)	連合町内会の支部	5	295	741	41.0
	⑮	広戸西(津山市)	連合町内会の支部	5	182	506	36.9
	⑯	◎ 二川地域(真庭市)	小学校区	22	235	609	46.1
	⑰	別所小学校区(真庭市)	小学校区	9	100	254	52.0
	⑱	富原地域(真庭市)	小学校区	42	530	1,458	41.6
	⑲	上田地域(真庭市)	小学校区	19	159	356	53.4
	⑳	◎ 梶並小学校区(美作市)	小学校区	6	409	803	55.7
	㉑	◎ 倭文西(美咲町)	その他(旧村)	51	368	987	40.5

(注) ◎:モデル地域





# 交流・定住等の施策について

都市住民の田舎暮らし志向が高まる中、過疎化・高齢化により、集落機能の低下、耕作放棄地の拡大等が進む中山間地域等において、交流・定住を促進することにより人材を誘致し、中山間地域の活性化を図る。

## 1 推進体制等

### (1) 官民協働組織

県、市町村、民間団体等の協働により本県における交流・定住人口の拡大を図ることを目的に設立した「岡山県交流・定住促進協働会議」において、交流・定住に係る情報交換・共有を行うとともに、都市住民等への情報発信や受入体制の整備を進める。

#### ア 構成団体

- 40団体 ・民間 11団体（経済6、住宅2、観光1、農業2）  
 ・行政 29団体（27市町村、県、県教育委員会）

※会長：岡山県県民生活部長 設立：平成20年7月16日

#### イ 活動テーマ

特定事項（活動テーマ）の調査、研究等を行うため、岡山県交流・定住促進協働会議に課題別推進チームを設置し、具体的な取組を検討する。

- ①交流・定住促進PR（総合相談会等）
- ②空き家情報流通システム

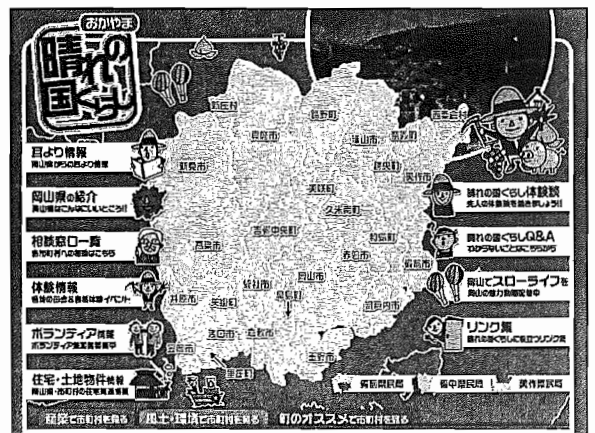
### (2) 相談体制及び情報発信

本庁、各県民局、東京・大阪事務所及び全市町村に設置した相談窓口で、UIJターン希望者等からの様々な相談やニーズにきめ細かに対応するとともに、交流・定住ポータルサイト「おかやま晴れの国ぐらし」等を通じて、積極的な情報発信を行う。

○交流・定住相談窓口での相談状況（H22年度）

		計	備考
相談件数		1,017	85件/月
相談内容	仕事	就農	161
		就農以外	223
		計	384
	住居	590	
	交流・体験	33	
その他	82		

※1件の相談が複数の相談内容に該当する場合がありますため、相談内容の合計と件数は一致しない。



おかやま晴れの国ぐらし  
 (岡山県交流・定住ポータルサイト)

## 2 岡山の魅力発信

### (1) 趣旨・目的

県外、特に関西圏に居住する都市住民を対象に、関係部局及び岡山県交流・定住促進協働会議と連携しながら、「おかやま交流・定住フェア」や「おかやま晴れの国ぐらし相談デスク」の開催などを通じて、岡山県での暮らしの魅力を発信し、交流の活発化と定住に結びつける。

### (2) 事業内容

#### ア おかやま交流・定住フェアの開催

関西圏の都市住民に、「晴れの国おかやま」での暮らしの魅力を発信するとともに、実際に岡山に住むことを考えている方に相談の場を提供するため、「おかやま交流・定住フェア」を開催する。



- ①日 時 平成23年9月3日(土) 10:00~15:00
- ②場 所 AP梅田大阪(大阪市北区)
- ③内 容 ・晴れの国ぐらしのプレゼンテーション  
・市町村等相談コーナー  
・Uターン就職説明会、就農相談会、住まいの相談会等

#### イ おかやま晴れの国ぐらし相談デスクの開催

岡山県への定住を考えている方に対して、大阪市内で定期的に相談ができる「おかやま晴れの国ぐらし相談デスク」を年5回開催し、きめ細かな相談対応や定期的なフォローアップを行う。

- ①日 時 平成23年 5月28日(土) 10:00~15:00  
平成23年 6月25日(土) 〃  
平成23年11月12日(土) 〃 (予定)  
平成23年12月17日(土) 〃 (予定)  
平成24年 2月 4日(土) 〃 (予定)
- ②場 所 岡山県大阪事務所(大阪市中心区)
- ③内 容 住居、就労、就農などUIJターンの相談

#### ウ UIJターン等への情報発信

産業労働部、農林水産部等と連携して東京及び大阪で開催される「ふるさと回帰フェア」(主催: NPO法人ふるさと回帰支援センター)等に出展し、UIJターンに関心のある都市住民に岡山の魅力や交流・定住の情報を発信する。

### 3 受入体制の整備

#### (1) 趣旨・目的

都市住民の田舎暮らしへの関心と、そのための住居へのニーズが高まっていることを踏まえ、官民協働で市町村の実施する空き家の情報提供を支援するなど、本県の定住人口の増加と中山間地域の活性化を図る。

#### (2) 事業内容

##### ア 空き家情報の収集・登録

定住促進のための空き家の活用に意欲を持って取り組む市町村の区域内における、現地調査、所有者の意向確認等を通じた空き家情報の収集・登録を、民間団体に委託して実施し、市町村が登録する物件情報の増加への支援を行う。

- ①事業名 中山間地域等空き家流動化推進事業（ふるさと雇用再生特別事業）
- ②委託期間 平成21年4月1日～平成24年3月31日
- ③受託者 NPO法人コミュニティーデザイン アンド マネジメント ジャパン

##### イ 空き家情報流通システム

平成21年に、住宅関連団体（（社）岡山県宅地建物取引業協会及び（社）全日本不動産協会岡山県本部）と県との間で包括協定を締結し、物件の現況など空き家に関する情報をより詳細に提供するとともに、空き家を取り扱う業者の決定から入居者決定までをシステム化することにより取引等の利便性と安全性の向上を図る「空き家情報流通システム」を構築し、平成22年7月から運用を開始した。

現在、住宅関連団体と個別協定を締結した6市町（岡山市、備前市、美作市、和気町、矢掛町、鏡野町）が参加しており、今後、参加市町村の拡大を図る。

##### ウ お試し住宅の整備（頑張る地域応援事業）

交流・定住の促進に向けた相談会等を実施する中で、知らない地域へ移住することに不安を持ち、定住体験を希望する声が多く、また、受入れ地域においても地域に馴染んでくれるか不安を抱く例もあることから、一定の期間、地域での暮らしを体験できる、いわゆる「お試し住宅」を整備し、そうした双方の不安を解消し、本県への定住促進をより効果的に実施する。